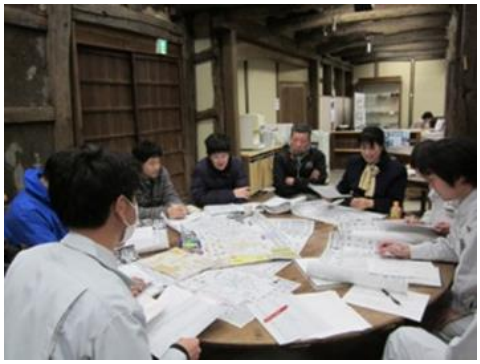
番号	１３	県別	広島	事業場所	庄原市街地
実施団体等	庄原まちなか協議会			代表者	西田　学
事　業　名	庄原まちなかにぎわい事業				
事業目的	庄原市の市街地は、地域商業の低迷と少子高齢化・人口減少、郊外への大店舗の進出により、にぎわいが衰退する中、市民団体を中心に、にぎわいづくりによる活性化の取り組みを行っているが､まちなか以外の市民や県大生は、まちなかへ来る機会がほとんどなく知られていない状況にある。本事業は、県大生も含めた多くの市民がまちなかへ訪れるように、市民や団体、企業等が一体となり､まちなかの魅力づくりを進め､庄原市内外への発信によって､まちなかのにぎわい再生をめざすことである。				
事業概要	しょうばら花会議が行っている『庄原さとやまオープンガーデン』や『庄原さとやまオープンガーデニングコンテスト』の開催に合わせ、各々で行ってきた他の市民団体等のイベントを連携させて、一体的なまちなかの魅力づくりを行った。また、県立広島大学生や、市街地以外の市民が庄原まちなかへ来る機会が少ないため、まちなかフィールドワークを実施するための「庄原まちなか歴史ＭＡＰ」作成を行った。				
事業効果	市内の様々な市民団体の活動を連携させることができ、単独で行うよりもにぎわいを生み出すことが出来た。倉田百三やまちなかの史跡などについて知らない人も多いため、身近な歴史を発見するきっかけとなった。 また、学習会を県立広島大学キャンパスで開催し、集まった大学生に対しても、まちなかについて深く知る機会を提供できた。				
活動状況	 まちなかフィールドワーク 事前学習会の様子  まちなか協議会風景				